

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2019年7月3日水曜日 22:35
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2019年7月3日発行
添付ファイル: 190721さんぎ大学チラシ両面(圧縮).pdf

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2019年7月3日発行 ◆

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】
<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

-
- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
 - 【2】 第159回研究会・さんぎ大学講話会のご案内【添付ファイルあり】
 - 【3】 「田口鉄道 開業から90年 廃線跡を訪ねて」のご案内／藤井建【New】
 - 【4】 大垣・奥の細道むすびの地記念館企画展「鉄道敷設の大家で橋梁学の工学博士・那波光雄」
のご案内／藤井建【再送】
 - 【5】 名鉄豊田線開業40周年記念展のご案内／藤井建【再送】

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 第159回研究会・さんぎ大学講話会 2019年7月21日(日) 13:00~16:30 トヨタ産業技術記念館
- 佐々木享没後5周年記念シンポジウム(後援事業) 2019/11/23 13:00~19:00 名古屋大学
- 第159回研究会・見学会 2019年9月21日(日) 13:00~16:30 トヨタ産業技術記念館

【2】 第159回研究会・さんぎ大学講話会のご案内【添付ファイルあり】

第159回研究会を次の通り開催致します。

日時 : 2019年7月21日 日曜日 13:00~14:20
会場 : トヨタ産業技術記念館 ホールA

研究会の内容は、決定しましたら改めて電子メール版ニュースレターにて配信いたします。

また、研究会終了後、14:30~16:30の予定で、トヨタ産業技術記念館と共催で、さんぎ大学講話会を開催致します。同じ会場で開催いたします。

前半はトヨタ産業技術記念館の事務局スタッフの広野透氏による講演で、
「モノづくりの大切さを伝える」~ミッション達成に向けて~
後半は中部産業遺産研究会会員である八田健一郎氏による講演で、
「展示から知るクルマの開発」~シャシーダイナモーターとは?~

です。

詳細は添付のチラシを御参照下さい。

【3】「田口鉄道 開業から90年 廃線跡を訪ねて」のご案内／藤井建【New】

「オフィスげんぞう」さんの手による「田口鉄道 開業から90年 廃線跡を訪ねて」が、「じもテレ」で紹介されています。
元々、キャッチネットワーク（刈谷市、安城市、高浜市、知立市、西尾市のケーブルテレビ局）で「東海の肖像#75」として放送されたものです。
次のリンクから動画を見ることが可能です。
https://jimotv.jp/products/movie_detail.php?product_id=11043

なお、愛知県、岐阜県のケーブルテレビ局で「東海の肖像#75」として放送されているので、そちらからもご覧頂けます。
豊田市、みよし市、長久手市をカバーしているひまわりネットワークの場合、7月6日の午前9時から「ひまわり12」チャンネルで放送されるほか、ほぼ毎日9:30～（ひまわり12）と14:00～（ひまわりch）にて放送されます。

廃線跡ツアーを横軸に、田口線の歴史を縦軸として、元名鉄の倉知さんをはじめ地元の方の映像も使われており、なかなか手際よくまとまった作品になっています。
「じもテレ」のホームページでは、8月29日までの公開とのことです。

【4】大垣・奥の細道むすびの地記念館企画展「鉄道敷設の大家で橋梁学の工学博士・那波光雄」のご案内／藤井建【再送】

大垣の「奥の細道むすびの地記念館」で、このメールに添付の展示会が7月20日～9月1日まで開催されます。8月18日（日）には、JR総研の小野田滋氏の講演があります。
18きっぷ、青空フリーが使えます。ご参考までに。

【奥の細道むすびの地記念館のホームページから】
「^今は山中 今は浜 今は鉄橋渡るぞと思う間も無くトンネルの 間を通過して広野原…」
（文部省唱歌『汽車』、明治45年）と歌われているように国土面積の約7割を山地が占め、3万を超す川が流れる日本では「トンネル」や「橋梁」の建設が不可欠です。
鉄道網拡張のための土木工事は、「文明開化」や「富国強兵」を掲げる明治政府にとって一大事業でした。
そうした中で、明治中期から大正期にかけてそれまで海外技術に頼っていた橋梁設計技術の国産化に貢献したのが、大垣出身の那波光雄です。
光雄は、関西鉄道揖斐川橋梁の難工事を成功させ日豊本線ではデリッククレーンを用いて橋梁架設工事の機械化に取り組みました。また、京都帝国大学などで鉄道工学を教え、後進を育成しました。
第26回企画展では、独創的な発想で工事技術の改良に尽力した那波光雄の生涯について、ゆかりの人物たちとの交流や資料を交えながら紹介します。
この夏、あなたのお気に入りの橋を見つけてみませんか。
<http://www.basho-ogaki.jp/tenji/tenji/index.html>

入館料 一般300円
交通アクセスはこちらから

<http://www.ogakikanko.jp/spot/kinenkan/#date>

【5】名鉄豊田線開業40周年記念展のご案内／藤井建【再送】

豊田市近代の産業とくらし発見館（豊田市喜多町4-45・名鉄豊田市駅から徒歩約5分）において添付の案内の通り7月13日（火）～9月1日（日）（月曜休館）、名鉄豊田線の開業40周年を記念したミニ企画展を開催されますのでご案内いたします。



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に
Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp Copyright 2002-2018 The Chubu
Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/035101d531a4%241278c580%24376a5080%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。



主催：トヨタ産業技術記念館

共催：中部産業遺産研究会

第9回 さんぎ大学 講話会

「モノづくりの大切さを伝える」

～ミッション達成に向けて～

「展示から知るクルマの開発」

～シャシーダイナモメータとは？～

2019 **7/21**(日)

14:30 ~ 16:30 (開場 14:00)

トヨタ産業技術記念館 ホールA

名古屋市西区則武新町 4-1-35

参加費無料
先着 100名



シャシーダイナモメータ

ご挨拶

2015年から始まりました「さんぎ大学」も開始から4年が経ち、今回で第9回目を迎えました。今回も当館の展示にまつわる二つの話題をご用意しました。

一つ目は開館当初から運営に携わってきたスタッフが、展示改修の経緯や、特別展などのイベントの変遷、そして今後の改修予定などのお話をし、我々のミッションについて考察します。

もう一つの話は、トヨタ自動車のOBが長年車両開発に携わってきた経験をもとに、シャシーダイナモメータの解説と、クルマに求められる様々な性能を向上させるための開発技術のお話をします。お気軽にご参加頂ければ幸いです。

◆ プログラム

14:30 開会あいさつ

14:35 講演① **「モノづくりの大切さを伝える」**
～ミッション達成に向けて～

講師：広野 透

15:20 質疑応答

15:35 講演② **「展示から知るクルマの開発」**
～シャシーダイナモメータとは？～

講師：八田 健一郎

16:20 質疑応答

◆ 講師紹介



広野 透

1983年トヨタ車体(株)入社 ボデー設計部で主に乗用車のアップーボデーの設計に携わる。1993年産業技術記念館建設準備事務局に出向し、開館に向け自動車館の製品技術コーナーの展示準備に従事。開館後も引き続き自動車館の展示企画や特別展、ワークショップなどのイベントを担当。開館準備から10周年、15周年、20周年、25周年のリニューアル全てに関わってきた唯一の事務局スタッフ。



八田 健一郎

中部産業遺産研究会会員 トヨタ自動車株式会社OB
1954年神奈川県川崎市生まれ。小学校以降は愛知県に在住。横浜国立大学生産工学課程修了後トヨタ自動車工業(当時)に入社。車両開発技術部門にて車両性能開発として振動騒音性能や操縦性安定性能を担当。近年は車両性能開発設備導入統括を担当、2019年5月退社。



無停止付換式豊田自動織機(G型)



トヨタスタンダードセダンAA型乗用車

ご案内

- 開館時間/9:30~17:00(入場受付は16:30まで)
- 休館日/月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※8/13(火)は開館
- 入場料/大人500円・中高生300円・小学生200円
※団体割引あり
※学校行事での入場は半額(小学生・引率の先生は無料)
※65歳以上の方は無料
※障害者手帳をお持ちのご本人とその付添の方1名は無料

交通

- 名鉄/名古屋本線「栄生駅」下車、徒歩3分
- なごや観光ルートバス「メーグル」/名古屋駅バスターミナル11番のりば
「トヨタ産業技術記念館」(敷地内)下車すぐ
- 「名古屋駅」からタクシー利用で5分
- ☑無料駐車場(乗用車220台、大型バス10台)



トヨタ産業技術記念館
〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
TEL:052-551-6115 FAX:052-551-6199



フォロワー募集中!



Webサイトはこちら!
<http://www.tcmi.or.jp/>

